

答 申 書

平成28年12月

小松島市水道事業経営等審議会

平成 28 年 12 月 6 日

小松島市水道部

小松島市長 濱田 保徳 様

小松島市水道事業経営等審議会

会 長 上月 康則

小松島市水道事業経営計画等について（答申）

平成 28 年 6 月 3 日付け小水第 397 号をもって諮問のありました事項については、当審議会において、5 回に及ぶ活発な議論を重ね、慎重に審議いたしました。

その結果を別添「小松島市水道事業経営等審議会 審議内容のとりまとめ」のとおり作成しましたので、これをもって答申といたします。

小松島市の新水道事業ビジョンの策定においては、『新水道ビジョン（厚生労働省）』が理想像に位置付ける「持続・安全・強靱」の実現に向けた具体的数値目標を設定するとともに、その推進にあたっては、社会環境の変化や進捗管理に留意しながら取り組まれるよう要望します。

今後 10 年間の事業計画としては、最重要給水施設配水管の耐震化を最優先としながら、市内水道システムのバックアップ機能の強化を図るなど、5 事業、総額約 55 億円を設定いたしました。事業の実施段階では精査を重ね、可能な限り費用の圧縮に努めてもらいたいと考えます。

この事業計画に沿って市内水道施設の耐震化、再構築を進めるためには、これに見合った内部留保資金の十分な確保が必要であり、現在の財政状況を考慮すると、今後、一定程度の料金値上げはやむを得ないと判断されます。

しかしながら、水道施設の整備、更新に必要な投資資金は、本来、過去から現在、そして将来に渡るそれぞれの世代で公平に負担されるべきものであることから、料金改定率の設定に当たっては、給水人口の減少が見込まれる将来世代に対し、過度に負担を先送りすることのないよう配慮しなければならないと考えます。

最後に、水道事業が直面するさまざまな課題の解決にあたっては、市民の十分な理解と協力が必要となるのは言うまでもないことであり、市民が水道事業に対して関心を持ち、身近な問題として実感できるよう、様々な機会をとらえて、市民とのコミュニケーションを図られるよう要望します。

## (別表1)

## 平成 28 年度 小松島市水道事業経営等審議会 委員

名称	所属・役職	氏名	備考
学識経験を有する者	徳島大学 大学院理工学研究部 教授 環境防災研究センター危機管理部主任	上月 康則	会長
	徳島大学 大学院理工学研究部 教授 副理事・副学部長 地域創生センター副センター長	山中 英生	副会長
関係団体	小松島商工会議所 専務理事	武中 勢一	
	小松島消費者協会 会長	喜多 操子	
	小松島市連合婦人会 会長	畠山 ツミ子	
	田浦協議会 理事長	豊田 孝	
	新居見協議会 理事長	武田 進	
大口利用者	(キョーエイ・ルピア) 小松島サンパーク協同組合 理事長	川人 尚文	
市民代表	公募委員	津田 上生	
		堀川 昌男	
		上甲 清子	
水道事業在職歴者	前水道部長	大川 郁夫	
小松島市	副市長	木村 正樹	

## (別表2)

## 審 議 経 過

開催回	日程	審議事項
第 1 回	平成 28 年 6 月 3 日	小松島市水道事業の紹介 小松島市水道事業の課題
第 2 回	平成 28 年 6 月 29 日	小松島市水道事業の将来像 (あるべき姿) について 施設整備・改良に係る施策の方向性について
第 3 回	平成 28 年 8 月 18 日	水道施設整備・更新事業計画 (案) について
第 4 回	平成 28 年 10 月 14 日	財政計画と料金改定 (案) について
第 5 回	平成 28 年 11 月 22 日	その他の取り組みについて 答申 (案) について

○開催場所：小松島市水道部 田浦浄水場管理棟 2 階会議室